

入居企業紹介 その79

SICに入居されている企業をご紹介します。

SIC-1 325

プラスアルファドットティーヴィー

映像で企業に プラスアルファの付加価値を



【代表プロフィール】

プラスアルファドットティーヴィー
代表 北 桂樹(きた けいじゅ) 34才
東京都多摩市生まれ。現在も在住。

趣味はサーフィン。週に1回は波にのっている。国内に留まらず海外にも足を伸ばす。今年の夏はバリ島に行く予定。サーフィンがなかったら仕事も煮詰まってしまうほど、なくてはならない存在と北さん。

静岡大学(地学専攻)を卒業後、広告代理店に営業として就職。勤務のかたわら映像学校に通いました。映像制作会社勤務を経て2008年に独立。広告代理店時代は、営業ではありませんでしたが、年間80本のCMを自ら制作し、営業から制作まで一貫した取り組みの下地を築きました。

【起業しようと思ったきっかけは?】

製造業が盛んな静岡県の広告代理店だったこともあり、ものづくり企業の販促動画制作も多く経験しました。営業出身であるからこそ、「企業の伝えたい本音」に切り込み、引き出すことが出来る、お客様ともっと近い距離で仕事がしたい、と思ったことが起業のきっかけです。

【事業紹介】

動画・CM制作のコンサルティングから企画立案、デザイン・制作、プロモーション支援。

映像・動画は決して高価なものではありません。大規模な口ケを行わずとも、パンフレットや写真等の素材から動画の制作は可能。また、一度制作した動画の活用先についてのアドバイスも行っている。企業の規模に関係なく、「会社の広報に動画があったら・・・。」と思っていたらお気軽にご相談下さい。

これまでの作品：CANON EXPO MR ブース映像作品
Actiz サービス紹介 VP 制作
相模原市観光協会公式サイト制作など

<http://plus-alpha.tv>

(これまでの作品の一例をご覧ください)



【課題となっていること、苦労していること】

当社は既に3D等の最先端技術も保有し、実際に制作活動も行っています。最先端のことをより身近に、ローカルに感じていただけるようにしていきたい。

【これからの夢または目標は?】

中小企業の心強いサポーターになっていきたい。

逆説的かもしれませんが、動画はあくまで手段の一つだと考えています。相模原地域の企業や製品の良いところをもっと伝えたい。何が必要でどのようにPRするか、動画が必要かどうかから一緒に考えていきたいと思っています。



サーフボードの先端にカメラを据え付けて撮影。動画から写真を一枚。被写体はご本人。



入居企業トピックス

● 今月の掲載記事紹介

4月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、どうぞご覧ください。

4月3日(日) **株式会社 QRS**

神奈川新聞 分散型発電システムで日本に光を*

20日(水) **プラスアルファドットティーヴィー**

相模経済新聞「営業、制作部門が一体。仕事は顧客本意でありながら斬新」

20日(水) **株式会社 共立**

日刊工業新聞「真空技術で汚泥脱水」

入居企業の皆様へご案内

5月の販売予定日 in SIC

かわせみの家 <http://17.ocn.ne.jp/kahasemi/>

ケーキ・クッキーの販売を **12日(木)**
開始します。数に限りがあり **11:00~**
ますので、お早めに!
毎月第2木曜日を予定しています。

くるまかふえ **Sky Days**

<http://skydays.net>

*** 今月は、お休みです。 ***

パン・飲み物ともに
なくなり次第終了です。

米粉の**和**ベーグル



ベーグルショップ **米来**

<http://www.bgr-shop.jp/>

飲物
はじめました。

10日(火)
17日(火)
24日(火)
31日(火)

営業時間 12:00 ~ 18:00

SICからのお知らせ

「ニュービジネスリーダー」育成セミナー

SIC 経営塾

塾生募集

おかげさまで経営塾は10年目を迎えます。

本塾では、経営の理論と実践を学ぶとともに、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的としています。10年目を迎える本年度も『SIC経営塾』塾生の募集をしています。

- 開催期間 平成23年6月~平成24年2月(全11回)
- ◆募集人員 15名
- 対象 経営者または経営幹部
- ◆受講料 178,500円(消費税、一泊二日の合宿費を含む)
- お問い合わせ先: SIC-1 飯山(内線1100)



iSB 公共未来塾、開講
社会問題 × 事業で
子どもの未来を切り拓く

地域社会の課題に取り組む「ひと」を育てるビジネススクール”iSB 公共未来塾”を開講します。

- 開催期間 平成23年6月18日(土)~8月13日(土)
土日(9:30~16:30)
詳しくはHP掲載カリキュラムをご覧ください。
- ◆受講料 無料
- お問い合わせ先:
SIC 公共未来塾担当 直通電話: 770-9478
または、SIC 山本・稲垣(内線1117・2006)

本事業は、内閣府「地域社会雇用創造事業」の一環で行うものです。
主催:社会的企業育成支援事業コンソーシアム相模原サテライト(SIC、公益財団法人起業家支援財団)

2011年5月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】



米来さんが来る日

経理: 4月源泉税・地方税納付、決算業務 税務: 確定申告・法人税等納付、申告期限諸届
社会保険/労務保険: 労働保険申告・保険料の支払い(1年分) 登記: 役員変更等

日	月	火	水	木	金	土
1	2 会議室7月分 予約受付開始	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6	7
8	9 SIC-1 ガラス清掃 *SIC-1 エレベーター点検	10 	11 相模原市新卒未就職 者等人材育成事業 説明会&相談会	12 SIC-2 空気環境測定	13 SIC-2 ガラス清掃	14 SIC-1 床面定期清掃 **SIC-2 電気設備点検
15	16	17 	18	19	20	21
22	23 リーダー塾 募集開始	24 第20回南西フォーラム 産産マッチング会	25	26	27	28
29	30	31 	1 会議室8月分 予約受付開始 子どもアントレ 募集開始	2	3	4

* エレベーター点検 SIC-1 9:30~11:00の間にご利用になれません。 お問い合わせは 生井(内線1116)まで
** 電気設備点検 SIC-2 8:30~10:30(全館停電時感 9:00~9:40) 雨天の場合は21日に延期します。 お問い合わせは 生井(内線1116)

「非常時のリーダーシップ」

2011.3.11「東日本大震災」から、2ヶ月が経とうとしています。地震、津波、原発の三重苦は、その被害の深刻さを増加させています。産業界での影響も大きく、バリューチェーンが分断され、復興への道筋が立たない分野もあるようです。経営者の皆様にとっても、大変悩ましい2ヶ月ではなかったかと推察いたします。一方で、この困難を乗り越えて、復興に向けて立ち上がる動きも出てきたようです。その様なお話を聞く度に、「どうか早期にビジネスを再建して欲しい。」と願うと共に、この困難に勇敢に立ち向かっている経営者や社員の皆様の姿に頭が下がります。

さて、今回は、前回「BCP」（事業継続計画）に続き、「緊急非常事態」のテーマとして、「非常時のリーダーシップ」について、ご紹介いたします。

「危機管理」で有名な 佐々淳行（ささ・あつゆき）氏は、著書「平時の指揮官 有事の指揮官」（文春文庫・1999.11.）の中で、「このような危機の状況下で、人間集団にとって最も必要なのは『指揮官』である。」「普段は根回し、円滑な満場一致、話し合い、繰り返される会議などによる『調整』が尊ばれる。」「しかし、『阪神大震災』のような非常事態、つまり有事にあっては、意思決定は指導者の『決断』、それも場合によっては少数決、いや、独断専行によって行わなければならない。」平時と有事では、リーダーの役割、あり方などが、まったく異なる。「長々と会議をやっていると、倒壊した建物の下敷きになって助けを求めている人々が死んでしまうかもしれないからだ。」

もう一つの話です。ハリケーン・カトリーナとBP原油流出事故の対応指揮を執った元アメリカ沿岸警備隊司令官のThad Allen氏のインタビューの要約です。非常時のリーダーのあり方について、ひとつのお手本です。

「自然災害や大規模事故などの未曾有の危機に直面した時、想定外の問題が噴出し、現場は混乱に陥る。そこでは、規則やマニュアルに頼ったやり方は通用しない。このような状況下で、人々の

心を一つにまとめて事態の収拾に当たるためには、何よりも強力なリーダーシップが求められる。」「大きな危機の際には、一つの目的の達成に向けてみんなの能力を統合し、努力の結集を図ることが必要。」「また、期待される成果を達成するためには、過去の経験や原理原則に縛られずに、現実起こっている問題の本質を見抜き、臨機応変にメンタル・モデルを順応させること」「リーダーシップは最前線の現場でも、中央本部からでもあらゆる場所から発揮しなければならない。軍隊でもビジネスでも通用する、優れたリーダーの条件は、柔軟性、機敏さ、好奇心を持つことだ。」(ハーバート・ビジネス・レビュー 2011.2. P78「非常時のリーダーシップ」グイメント社)

「非常時のリーダーシップ」は、簡単ではなさそうです。

2011.3.11. 「東日本大震災」は、リーマン・ショックを超える企業経営へのインパクトとなっています。特に、電力供給不足は企業競争力を低下させる大きな要因となっています。産業構造の大きな転換点となる可能性もあるかもしれません。いずれに致しましても、経営者の皆さんの「リーダーシップ」はとても重要です。佐々淳行氏は、「指揮官、責任者とは、孤独な存在なのである。」「その苦しみに耐え、人々のために最善と信ずる道を選び、その結果生ずる全責任を負おうとするのが指揮官魂というものだ。」と。

そうは言っても、社長一人で全部背負ってしまうことも、無理・無茶かもしれません。それぞれの企業の中で、経営幹部の皆さんと共に、力を重ね・合わせた経営マネジメントチームとして対応することが、求められます。

もう一つ、SICスタッフをもっとモット利用してください。SICのスタッフに相談してください。こんな時だからこそ「皆さんのお役に立ちたい」と強い思いを持っているスタッフを頼ってくれると嬉しいですね。

そして、この未曾有の「危機」を乗り越え、被災地復興のため、日本復興のためにも、私たちの「成長」「成功」を手に入れましょう！！

わたしの居場所

先日、SICスタッフから教えてもらった青根にある310段の階段を登って来ました。その階段の先には、小さな神社がありました。『よくぞ、ここを見つけた!』と言いたいくらい・・・いいえ、口に出して言っていました。それほど気が付かない所から山へ入り、公道からは見えない階段が始まるのです。昭和58年に寄贈されたその階段は、誰も掃除をしていない様子で、ひたすら足下に注意をしながら、落ちている枝を杖にして上を見ることもなく登って行くと、不思議とあっさり登れてしまいました。かなり覚悟して登り始めたのですが、意外なもので上を見なかったことが良かったのかも知れません。

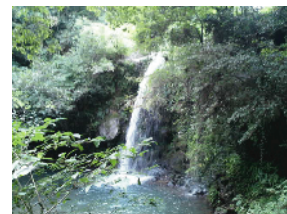
ときどき、マイナスイオンいっぱい滝を見に、山の中を歩くことがあります。森林浴をしながら滝を目指して歩くと、思わぬ場所(例えば、昔、誰かが修行していたという「おほら」など)に着いてしまったり、普通は二つに分かれている松の葉なのに、三つに分かれている松の葉を持つ松の木に出会ったりします。回り道をしながら道草をしながらと、なかなか面白いものです。登山やハイキングではなく『たまたま滝があるから歩いてみた』と好奇心だけで動く、私の半世紀もそんなものだったのかも知れません。

SICでは、いつもパソコンの画面を覗き込んで、入居企業の皆さんが受付にいらしても気が付かなかったり、カンカンと音を立ててSIC-1とSIC-2の間を走っていたりと、歳の割に落ち着きのない行動をしています。良く『走るな!』と言われますが、走るくらいに忙しいほうが気持ちは落ち着いています。

どんな人ですか? SIC スタッフ編

今月のスタッフ【荻島 穂浪】

突然、見知らぬ所へ行っても、どこに居ても何があっても、家族がいて、会社に行けば一緒に仕事をする同僚がいて、お客様がいます。何処であっても少しでもお互いが必要とする限りは、自分ができる事を続けることができる限りは、そこが私の居場所なのだと思います。そろそろいい歳ですので、走る事は控えようかと思っています。





SIC東日本大震災 NPOと 被災地支援 project

募金箱

設置期間

4月26日～5月17日まで

「遊び」で子ども達を元気づける

NPO 法人 太陽の村・子ども健全育成ネットワーク

被災地の子ども達に「絵本を贈る」

NPO 法人らいぶらいぶ

SICは、相模原市内のNPO法人が行う被災者支援活動を応援します。5月17日(火)までSIC-1のロビーに募金箱を設置しています。

1. 「遊び」で子ども達を元気づける

東京電力福島第1原子力発電所の事故により集団避難を強いられている福島双葉町の子ども達に遊びの機会を提供します。

【寄付金の用途】

子ども達との遊びで使用する「積み木」の購入費用
※購入先：木楽舎つみ木研究所 <http://kirakusha.jp>
※使用した「積み木」は避難所に寄付します。

【活動内容】

福島県双葉町の住民約1,200人が避難している埼玉県加須市旧騎西高校避難所で以下の活動を実施します。

室内遊び：ハーブ演奏、読み聞かせ、積み木、人形劇
屋外遊び：ネイチャーゲーム、ミニデイキャップ、昔の遊び

【活動実施日】平成23年5月中旬

【活動メンバー】

NPO法人「太陽の村」など子どもの健全育成分野のエキスパートで構成される「子ども健全育成ネットワーク」のメンバー約30名

※NPO法人太陽の村は、不登校児や発達障害児の問題に取り組んでいます。

<http://www.7b.biglobe.jp/~taiyounomura/>

◎積み木あそび

子ども達は、自由な発想で積み木を使い始めます。何人かで大きな街を作ったり、天井まで積み上げたりするうちにコミュニケーションが生まれ、純粋に楽しい時間が流れます。

2.被災地の子ども達に「絵本を贈る」

被災によるストレスやショックで傷ついた子ども達のこころを穏やかにする一助として「NPO法人らいぶらいぶ」が「3.11絵本プロジェクトいわて」を通じて絵本を被災地に贈ります。

【寄付金の用途】

幼児から小学校高学年向けの絵本の購入費

【購入予定図書】

神奈川子ども読書200選の本

例えば・・・

「おしおのぼうけん」「ぐりとぐら」「かいけつゾロリシリーズ」「ハリー・ポッターシリーズ」「ダレン・シャン」など

【活動メンバー】

NPO法人らいぶらいぶ

本を通して心豊かな生活を送りたいと願う人と図書館を結ぶ活動をしています。<http://www.live-lib.jp/>

◎「3.11絵本プロジェクトいわて」とは

美智子皇后がご執筆された『橋をかける』の出版を手掛けるなど国際的に活躍する児童図書編集者 未盛千枝子さん(岩手県八幡平市)が有志と共に、被災地の子ども達へ絵本を届けるプロジェクト「3.11絵本プロジェクトいわて」を立ち上げました。



※「木楽舎つみ木研究所」ホームページより引用

※「3.11絵本プロジェクトいわて」ホームページより引用

山本のめし屋レポート

居酒屋「馬あ～さくら」

八代庵を進み、ブラザー軒を右折。

住宅街のなかにほんのり灯る赤ちようちんが目印です。

謎のへべれけ画家に誘われて、SICから徒歩5分の「馬あ～さくら」へ行ってきました。

民家の庭に突然出現した手作り感たっぷりの外観に足が止まりましたが、

入ってみるとほっこりした雰囲気。

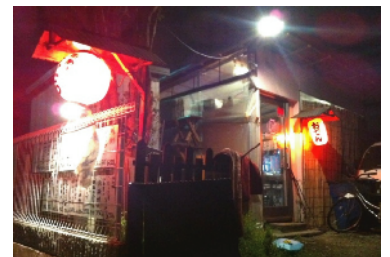
お客さん達も思い思いの時間を過ごしていました。

たてがみ付きの馬刺し、馬レバ刺し、ウナギの白焼き、ナポリタンを美味しく食べました。

肉の新鮮さにこだわるチョット太めのスタッフも納得の様子。

定番メニューはどれも美味しく、次回は何を注文しようか楽しみなお店です。

いつもとちょっと違った雰囲気一杯やりたいときは是非どうぞ。



■住所 〒252-0131 緑区西橋本 2-13-13 ■Tel 042-774-7474

編集後記

ゴールデンウィークはどのように過ごされましたか。今回の震災で、自粛された方、日本経済の為に予定通りの方、ず～と仕事でしたと言う方や被災地へボランティアに行かれた方など様々かと思えます。SICでは、5月9日(月)から10月31日(月)まで、COOL BIZを実施いたします。今年は、東日本大震災を受けた節電の必要性を踏まえています。皆様のご協力をお願いいたします。 荻島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ:<http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp